

京城日報

佛國とサハラ横断

【二】
佛國の南緯線は、サハラ横断の第一歩である。佛國の南緯線は、サハラ横断の第一歩である。佛國の南緯線は、サハラ横断の第一歩である。

一タツシ

佐上道課長
内務省
一タツシ

言論界

米國の海軍政策
「サンフランシスコ・エクスプレス」

武人的詩人

ダナンチオ
松田の島人

新年文藝を募る

尾上 柴舟先生選
賞題 春 賞題 春

趣味と賞益

岡村介石
東京自動車学校

庭家副業

戸田農具株式會社
製繩機 各種在庫

生存競争の哲學

賀川豊彦著 最新刊 定價貳圓
生存競争は愛の力を超越するか？
生存競争は愛の力を超越するか？
生存競争は愛の力を超越するか？

朝鮮及滿洲

十二月號 頁八十 定價 貳圓
● 朝鮮の現狀 ● 朝鮮の現狀 ● 朝鮮の現狀
● 朝鮮の現狀 ● 朝鮮の現狀 ● 朝鮮の現狀

生存競争の哲學

賀川豊彦著 最新刊 定價貳圓
生存競争は愛の力を超越するか？
生存競争は愛の力を超越するか？
生存競争は愛の力を超越するか？

是丈は心得おくべし

加藤美倫著
再び半價普及版大賣出し
是丈は心得おくべし
是丈は心得おくべし
是丈は心得おくべし

『慶北道廳調查』

[illegible]

資金が商人の手から悉く農民の

萬變其一

仁川の湯屋組合が府廳に陳情

現在困難を感じる原因は水は既に報知せる如く水道の

年内に調査完了せん

金泉署管内狀況

二十區に本署一處在所十九、派出所一を配置してある、署員は署長

100

二十八日附許可せらる

て起工し度さ旨其の筋へ許可申請

して去る廿八日午後七時より橋本

- 市街地調整の達成
- 指定面制實施の要請

木浦の炭末經濟

木祖 木浦の歳末經濟狀況には、

相當の廻著はあるだらうが農民

未だ少しの回収もないのは要す

「氣に向つたと言つてないのだから」

一千萬圓を以て東三省鑄造銀行を

百萬圓、吉林三百萬圓、龍省二百萬圓

鐵所に於て金井、柳田、南、久間

更らに會見すること

Figure 1

[illegible]

村直臣我が見たる原首相の面



II

7/7

100

5

Figure 1

されはれず、罪罰せられてゐた。たゞ、
 罪に懲らざるが故にもなり、一説
 によれば、罪に懲らざるが故にもなり、一説

東萊溫泉へ
 丙に「丁より戊に轉々する道に遊
 は廢敗したり缺落する様な事にも
 つて酸意を疑はるゝ様な事にもな
 せん。年頭の前答は由來、随らん

姿勢は衛生上、容儀上最も大切
布地の特質と運針法に就て

布地の特質と運針法に就て

東栗岡田織文・西原長 奥田・鵜子女史談

目下明治町小川町に湖在中なる 八の説教を施さねばならぬところあるか
東栗岡田若菜女史は後鵜田子女史 査しつけねばならぬ。
史は愛國婦人會より國體後援の 職を授けられ、重臣の傍に非
に裁縫講習會を開目下龍山橋行 裁縫講習會は、重臣の傍に非
に裁縫講習會を開目下龍山橋行 裁縫講習會は、重臣の傍に非

火氣の取扱に就て一般家庭の注意を促す
小牟田 仁川署長談

不景氣と師走
夜逃げ初ま

山本クレミシは内務省の支那課長で、
なるものと右の飯沼を降参させ、
しめたが去る二十七日午後八
時許可罷を擲棄のまゝ押提へて
に於逃走した調査によると能
く國犯を有する者で今日では
の負任をなすものも如く又
等の罪もあり等々の爲と

は、どうも意味なものが多い。二重生活をしてゐるが、我國ことに院に於いては、さしつめ子供のものを、子供服の色合であるが、現代の狀態として

のない結果であらうが、
 服の研究が随分、さかんに
 たので、行く行くは、外国
 製の利いた可愛のが造られ
 なるであらう。

釜山財界の注目を惹

[illegible]

金側からニツケル時計

[illegible]

年としから見みると既すでに
オルサム會社オースサムカイシャの五
つ張はり箇かどがその主張しゆちやうです、
内地うちちでは多少下向かむかむいて來まし

加はつてゐたので極めて驚歎も
 比ひ決して好くない
 由來仁川は
 昔から火災

少し大きい子供には、
の色合がよく似合ひ、
された暗色のものも相
てゐる、が之は殆ど我
と云つていい。生地は、
にはサージが多く用ゐ
これは盛久が強いから

として毛糸の服が一世に
に、バンドをつけて下着
やうにすると、防蹠用に
且又運動のはげしい子供
等便利である、とにかく
供服は、男も女も一様に
流行する、これは見た眼
可愛いものである。

從中昨年三月

のを手始めに七百餘回に亘る三千六百三十五回三十餘回に亘り遊興費に宛れ他犯禁の爲め組合の被服局を創設したもので後捕はれ横濱に移るたのである因に十二月中旬伊藤野矢郎で公判開廷の筈の

病ニテ苦ミノ方ニ
そノ醫分譲ス
太宰府町 永光園

警官の美學

は、斯くと聞いた。氣の毒に思ひ余

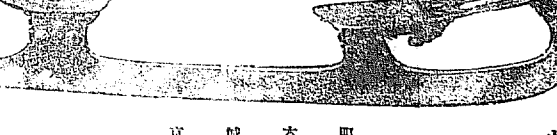
鮮青昆布	單位 一袋	
し昆布	同	
百匁	一枚	
百匁	一枚	

(新)

同同同

ては各所に人家建築の増
水道敷設當時に於て想像
と厩所も今日續々家屋の建

スケーターの御用命は
シノサキへ



京 城 本 町
シ ノ サ キ 商 店
電 話 本 局 六 四 八 番
同 一 三 〇 三 番
フ リ カ ヘ 京 城 一 五 四 番

カタログ進呈

特約店 京城日報代理部

[illegible]

學生帽子附屬品取揃
安イ中折帽子販賣

帽子原料商
西川眞商店
大坂北區南町二丁目
カネタカ御用 雜貨店

鷄里出張所
電話八六二番

文學博士 森 林太郎著 全十八卷一萬五千頁

鷗外全集

鷗外先生は上下三千年を通じて我日本が生みたる巨人なり。哲人にして文豪、改革者にして大成者、科學者にして詩人、隨所にて一代の豫言者先覺者たり。或は弘法型、新非白石型の人格と稱し、或は豫言者先覺者たり。或は弘法型、新非白石型の人格と稱し、或は豫言者先覺者たり。或は弘法型、新非白石型の人格と稱し、或は豫言者先覺者たり。



鷗外全集は先生の手澤墨跡の猶新たる遺篇を本とし、世に散逸せる零碎の珠玉をも悉く網羅す。其醇正なる哲學思想と、高華なる藝術的表現と相俟て現代及び未來を指導するに餘りあり。

偉大なる鷗外先生は實に全日本人の所有なり。この大全集に由て先生の英靈は永く全日本人の衷に生きん。

總目録		
第一卷 藝術論篇	第八卷 史傳二篇	第十五卷 三篇
第二卷 藝術論篇	第九卷 史傳五篇	第十六卷 三篇
第三卷 創作小説四十篇	第十卷 翻譯戲劇五篇	第十七卷 三篇
第四卷 創作小説四十篇	第十一卷 翻譯戲劇五篇	第十八卷 三篇
第五卷 創作小説四十篇	第十二卷 翻譯戲劇五篇	
第六卷 史傳十篇	第十三卷 翻譯戲劇六篇	
第七卷 史傳十篇		

內容見本申込送呈
預約十二月廿日限
東京日本橋區四丁目
電話本局西二丁目
電話本局西二丁目
電話本局西二丁目

東京日本橋區四丁目
電話本局西二丁目
電話本局西二丁目
電話本局西二丁目

東京日本橋區四丁目
電話本局西二丁目
電話本局西二丁目
電話本局西二丁目

[illegible][illegible]

明治四十丁巳八月二

皮膚病
微毒
泌尿器病

皮膚科
泌尿科

門專



皮膚科
泌尿科

皮膚病
微毒
泌尿器病

皮膚科
泌尿科

門專

皮膚病
微毒
泌尿器病

皮膚科
泌尿科

門專

[illegible]

かつわすきやき
 あいがも
 とりの水焚
 とり料理喜久家

京橋本町二丁目喜樂館前

櫻^{サクラ} 魂^{マタ}
 山邑酒造株式會社
 兵衛町
 東京
 平城町
 山邑酒造株式會社
 兵衛町
 東京
 平城町

[illegible]

なれない方が多く、殊に脚氣、
 中では中の七、八迄は左様な
 火や痘瘡、お用ひになります
 それには、中化製藥研究所の
 丹波藥學博士、眞鍋嘉一郎先生
 の指導で製造した、新式電氣明
 治器で發覺してゐる電氣コイル
 浴液へモトルをお用ひにな
 れば、其晩から一程よく温まり
 心地よく寝られます
 へモトルは、從來の鹽類と
 は異なり、經絡を閉鎖を害せず
 且、茶を飲むより更に新しくし
 た滋養飲料（貧血、神經衰弱、
 虚汗、産後及慢性
 ヒステリ、血虧、
 病等に用いたで最も佳き滋養補血藥
 としてあります）

代價 一週間分 壹圓半 送

手足の冷える方に
ヘモゾール

[illegible][illegible]

は い 病 まろく

內科
小兒科
村上病院
 京府永樂町一丁目 藥品雜貨部
 電話 三三六六 三三三三
 院長 豐土 村上龍藏

[illegible]

淋疾内用劑

松本ドクトル創製
櫻根博士／
緒方博士／推獎
宇野博士

急性慢性淋疾、淋
菌性膀胱加答兒、
大腸菌性膀胱加
答兒諸症に適應す

新米・雜類の各箱あり、各地
有名選物にあり、常陸轉賣
御申越え次第是す。

三共株式會社
本社 東京 笹町
出張所 大阪 浪速 町四丁目
關 西 市 茨田町

本 金 五 千 萬 圓
資 本 金 五 千 萬 圓
儲 蓄 貯 金 口 座

福助足袋

丈夫 恰好

福助は生地がよくて仕立が丁寧ですからほん
 とうに温い丈夫な足袋です。現物的な品です
 。

それで御進物には――是非
 福助足袋を選んで下さい
 贈った方も、贈られた方
 も此度お喜びになります

足袋

藤森忠一郎

油

温い優れた足袋に
あなたの心を
箱でお贈り下さい

福助の生地は飛び抜けた良い品ばかりです。
裁縫にも親切がこもつてゐます。叮嚀です。

生地

福

資本金 五千萬圓
 設立金 參千參百五十萬圓
 電話 六三二一 前長一〇二番
 東京市 門前町二丁目九番地
 第一銀行 東京支店
 代理 日本橋 本町二丁目

最上醬

味もにほひも
徳用も

醸造元 仁川港
日本橋 日本橋油會社

A COMPLIMENT
OF
THE SEASON

一キス并ウスメルへ

最も古き
史と信用と
に飾られた
る毛織の香
味ヘルメス

307

